

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名 西淀川区

学 校 名 大阪市立出来島小学校

学校長名 喜多 芳星

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・出来島小学校では、第6学年 49名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

昨年度に比べて国語2.5ポイント、算数6.1ポイント、全国の平均との差が縮まりました。大阪市全体として、全国との差が縮まらない現状の中、出来島小学校の子ども達は学力を伸ばしました。

問題に解答をしなかった割合(無解答率)も、昨年度に比べ、国語1.2%、算数0.8%改善されました。出来島小学校の子ども達は難問に対して、諦めずに粘り強く挑戦する力も伸ばしました。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

54ポイントでした。全国平均は、67.7ポイントでした。全国の平均には及びませんでした。しかし、昨年度に比べて2.5ポイント、全国平均との差が縮まりました。

無解答率は、2.5%でした。昨年度に比べて、1.2%改善されました。

〔算数〕

47ポイントでした。全国平均は63.4ポイントでした。全国の平均には及びませんでした。しかし、昨年度に比べて6.1ポイント、全国平均との差が縮まりました。

無解答率は、6.4%でした。昨年度に比べて、0.8%改善されました。

質問調査より

「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的回答が83.0%でした。

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定的回答が93.6%でした。

どちらも全国の平均を上回っています。

こうした項目は、学力の高さと関係性があります。出来島小学校の子ども達は、まだまだ伸びる可能性があることが証明されました。

今後の取組(アクションプラン)

○デジタル端末の有効的な活用

- ・デジタル端末活用率が毎日約80%であり、市内有数の活用率をさらに高める。
- ・学習アプリ「デジタルドリル」だけでなく、全市の小学校に先がけ「スタディアプリ」を学習に活用していく。
- ・デジタル新聞、デジタル100マス計算を学習で活用する。
- ・個別最適化の授業への手立てとして活用する。

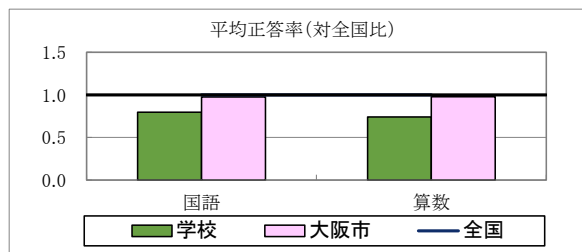
○協働的な学びの授業

- ・ペア、グループ、学級全体と場面に応じた話し合い活動を行う。
- ・デジタル新聞作成やプレゼンテーション資料作成する際に取り入れる。
- ・学びを深める場面を多く設定する。

【 全体の概要 】

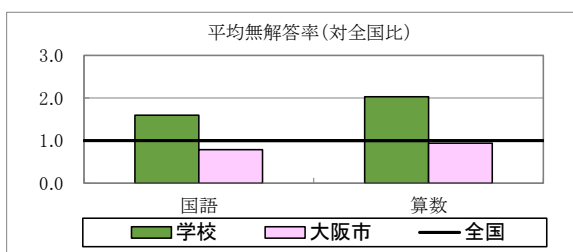
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	54	47
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



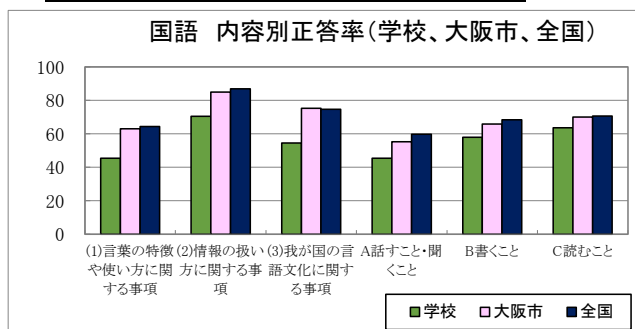
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	6.7	6.9
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



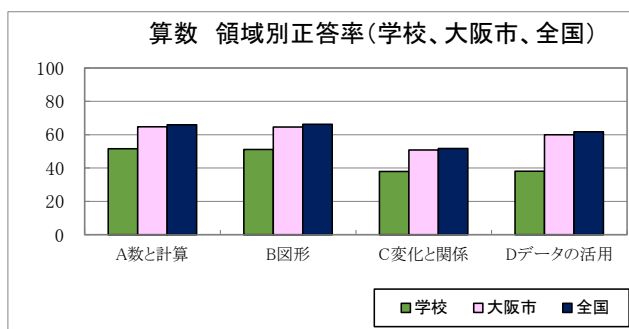
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	45.5	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	70.5	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	54.5	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	45.5	55.3	59.8
B 書くこと	2	58.0	65.9	68.4
C 読むこと	3	63.6	70.1	70.7

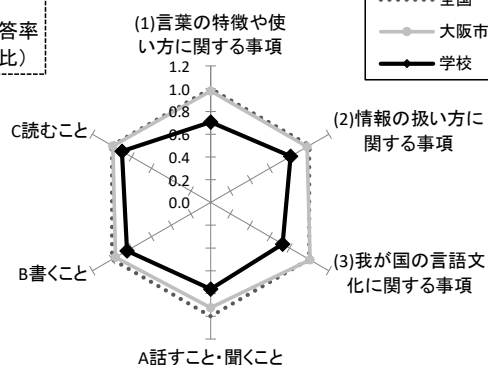


【 算 数 】

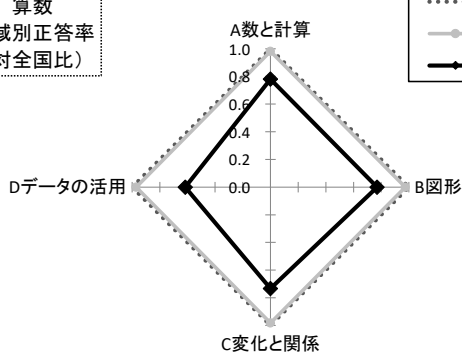
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	51.5	64.8	66.0
B 図形	4	51.1	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	37.9	50.8	51.7
D データの活用	4	38.1	60.0	61.8



国語 内容別正答率 (対全国比)



算数 領域別正答率 (対全国比)



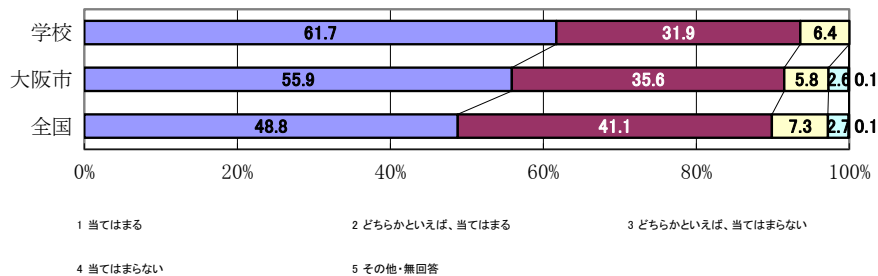
児童質問より

質問番号

質問事項

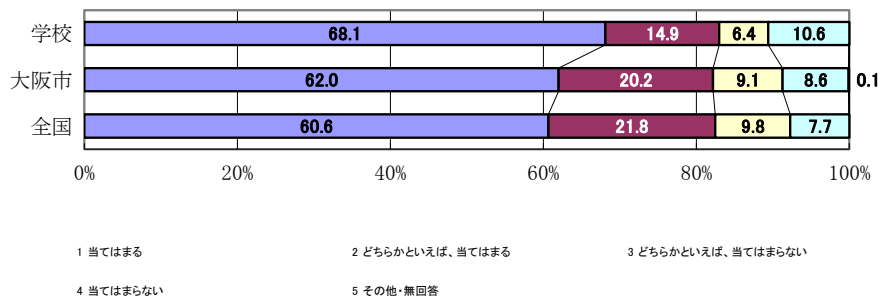
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



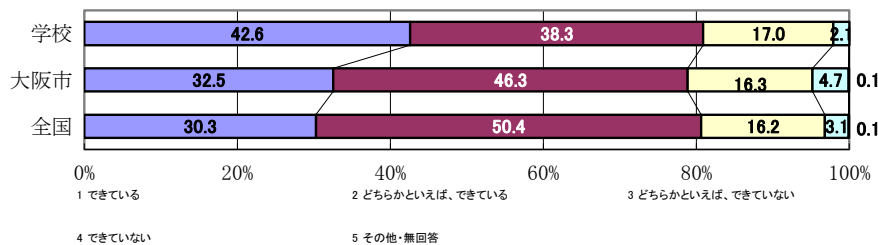
11

将来の夢や目標を持っていますか



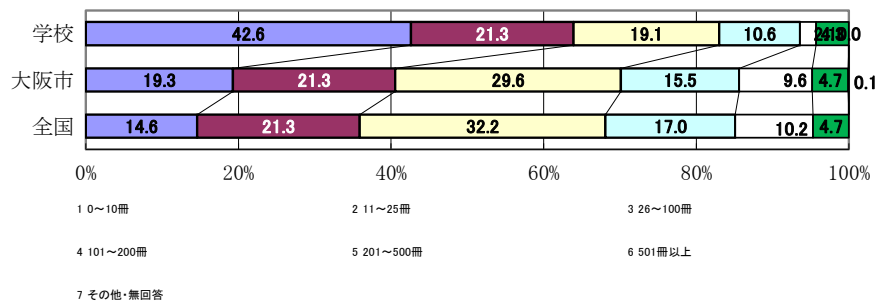
20

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



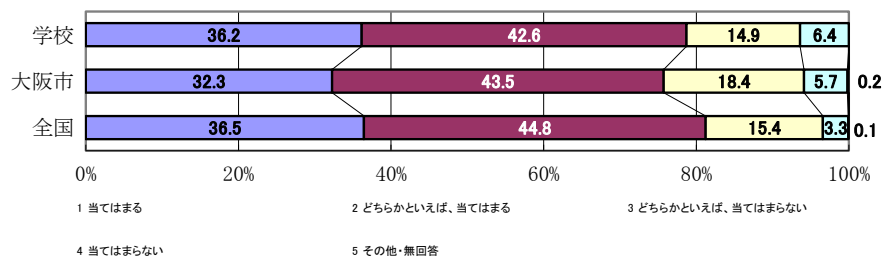
23

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)



38

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



学校質問より

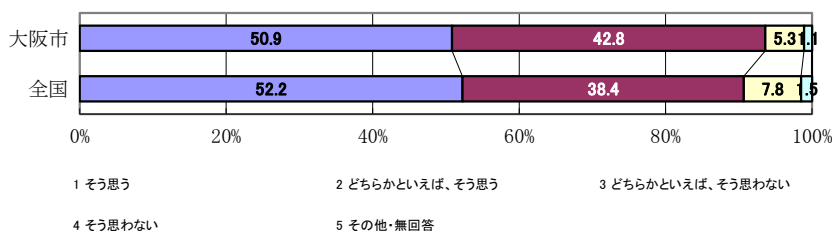
質問番号

質問事項

8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

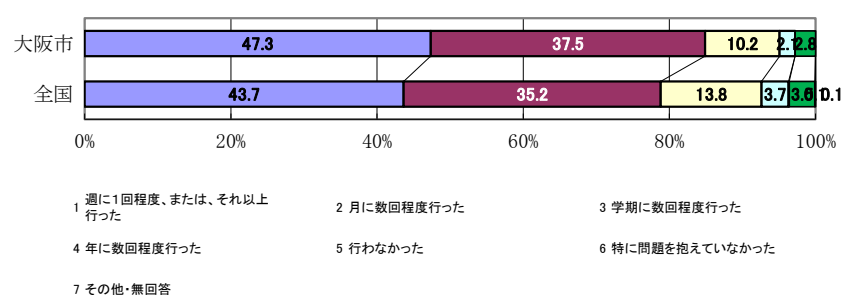
学校 「そう思う」を選択



9

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

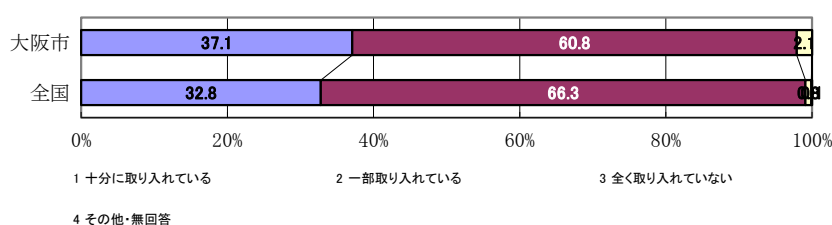
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

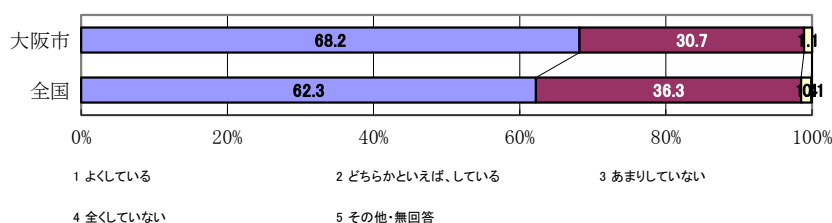
学校 「十分に取り入れている」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

